



## 平成29年9月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成29年5月8日

上場会社名 浜松ホトニクス株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 6965 URL <http://www.hamamatsu.com/ja/ir/index.html>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 晝馬 明  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理部長 (氏名) 嶋津 忠彦 TEL 053-452-2141  
 四半期報告書提出予定日 平成29年5月11日 配当支払開始予定日 平成29年6月2日  
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有  
 四半期決算説明会開催の有無：有（アナリスト・機関投資家向け）

（百万円未満切捨て）

### 1. 平成29年9月期第2四半期の連結業績（平成28年10月1日～平成29年3月31日）

（1）連結経営成績（累計）（％表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年9月期第2四半期	64,953	3.4	11,161	0.5	11,978	7.1	8,917	13.1
28年9月期第2四半期	62,843	1.0	11,101	△19.4	11,189	△23.3	7,882	△20.1

（注）包括利益 29年9月期第2四半期 12,390百万円（128.8%） 28年9月期第2四半期 5,414百万円（△55.9%）

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年9月期第2四半期	56.69	—
28年9月期第2四半期	49.02	—

### （2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
29年9月期第2四半期	230,144	179,427	77.7
28年9月期	217,300	169,716	77.8

（参考）自己資本 29年9月期第2四半期 178,806百万円 28年9月期 169,163百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年9月期	—	17.00	—	17.00	34.00
29年9月期	—	17.00	—	—	—
29年9月期（予想）	—	—	—	17.00	34.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

### 3. 平成29年9月期の連結業績予想（平成28年10月1日～平成29年9月30日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	127,500	4.6	21,400	4.2	22,500	12.2	16,300	13.0	103.61

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(注) 詳細は、添付資料9ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	29年9月期2Q	167,529,968株	28年9月期	167,529,968株
② 期末自己株式数	29年9月期2Q	10,213,814株	28年9月期	10,213,758株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	29年9月期2Q	157,316,201株	28年9月期2Q	160,786,306株

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	9
(継続企業の前提に関する注記) .....	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	9
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用) .....	9
(追加情報) .....	9
(セグメント情報等) .....	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善を背景に個人消費が底堅く推移し、輸出の持ち直し傾向が継続するなど、緩やかな景気回復基調で推移いたしました。しかしながら、欧米の政治動向への懸念や不透明な為替相場等、景気の先行きは依然として厳しい状況となっております。

このような状況におきまして、当社グループは、将来に向けた中長期的なビジョンのもと、当社独自の光技術を活かした研究開発を推進するとともに、積極的な設備投資を継続することで、売上高、利益の確保に努力してまいりました。

当第2四半期連結累計期間における当社グループの業績につきましては、売上高は64,953百万円と前年同期に比べ2,110百万円(3.4%)の増加となりました。また、利益面につきましても、営業利益は11,161百万円と前年同期に比べ60百万円(0.5%)の増加、経常利益は11,978百万円と前年同期に比べ789百万円(7.1%)の増加、親会社株主に帰属する四半期純利益は8,917百万円と前年同期に比べ1,035百万円(13.1%)の増加となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

## [電子管事業]

光電子増倍管は、医療分野におきまして、PETなどの核医学検査装置向けが、医療機関における買い替え需要等の高まりを受け好調に推移し、高エネルギー物理学実験等の学術向けも増加いたしました。しかしながら、鉄鋼材料の成分を解析する装置に組み込まれる発光分析向けが減少いたしました。また、血液分析などの検体検査装置向けも為替の影響を受け減少いたしました。

イメージ機器及び光源は、産業分野におきまして、X線非破壊検査用のマイクロフォーカスX線源の売上げが海外を中心に好調に推移したほか、アジア地域における半導体設備投資の活況を受け、半導体検査装置向けのキセノンランプが堅調に推移いたしました。また、精密機器を高精度に接着するUVスポット光源の売上げも好調に推移いたしました。しかしながら、医用分野におきまして、X線画像を可視像に変換するX線シンチレータの売上げが、為替の影響を受け減少いたしました。

この結果、電子管事業といたしましては、売上高は24,187百万円(前年同期比0.0%減)、営業利益は8,367百万円(前年同期比0.8%増)となりました。

## [光半導体事業]

光半導体素子は、医用分野におきまして、主力のシリコンフォトダイオードの売上げが堅調に推移したほか、フラットパネルセンサも高性能・高品質が評価され、歯科装置市場の拡大に伴い主に欧州にて売上げを大きく伸ばしました。また、産業分野では、産業用ロボット等の制御などFA(ファクトリーオートメーション)分野においてフォトICやLEDの売上げが増加したほか、半導体製造・検査装置向けのイメージセンサの売上げも好調に推移いたしました。

この結果、光半導体事業といたしましては、売上高は29,881百万円(前年同期比8.9%増)、営業利益は8,723百万円(前年同期比8.5%増)となりました。

## [画像計測機器事業]

画像処理・計測装置は、X線ラインセンサカメラの売上げが新製品の投入もあり食品検査用を中心に好調に推移いたしました。しかしながら、生命分野やバイオ分野で用いられるデジタルカメラの売上げが海外において減少いたしました。また、半導体故障解析装置が、海外における売上げは堅調であったものの、国内における売上げが減少いたしました。

この結果、画像計測機器事業といたしましては、売上高は8,826百万円(前年同期比1.8%減)、営業利益は1,919百万円(前年同期比8.5%減)となりました。

## [その他事業]

半導体レーザーに係る事業、子会社の㈱磐田グランドホテルが営むホテル事業及び子会社の北京浜松光子技術股份有限公司の独自製品に係る事業を含んでおります。

当セグメント(その他)の売上高は2,057百万円(前年同期比7.2%減)、営業利益は115百万円(前年同期比54.9%減)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産、負債及び純資産の状況

流動資産の主な変動は、現金及び預金が8,573百万円、受取手形及び売掛金が2,413百万円それぞれ増加したことなどから、流動資産は前連結会計年度末に比べ9,233百万円増加しております。

固定資産の主な変動は、製造工場の新築に伴う建設仮勘定の増加などにより、有形固定資産が2,854百万円増加したことなどから、固定資産は前連結会計年度末に比べ3,609百万円増加しております。

この結果、当第2四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ12,843百万円増加し、230,144百万円となりました。

流動負債の主な変動は、支払手形及び買掛金が1,071百万円、未払法人税等が749百万円それぞれ増加したことなどから、流動負債は前連結会計年度末に比べ2,968百万円増加しております。

固定負債の主な変動は、退職給付に係る負債が155百万円増加したことなどから、固定負債は前連結会計年度末に比べ164百万円増加しております。

この結果、当第2四半期連結会計期間末の負債合計は、前連結会計年度末に比べ3,133百万円増加し、50,717百万円となりました。

純資産は、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上により利益剰余金が6,238百万円増加したほか、為替換算調整勘定が3,036百万円増加したことなどから、当第2四半期連結会計期間末の純資産は、前連結会計年度末に比べ9,710百万円増加し、179,427百万円となりました。

② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）の残高は、前連結会計年度末に比べ8,964百万円増加し、62,560百万円となりました。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動により得られた資金は16,023百万円となりました。これは主として、税金等調整前四半期純利益及び減価償却費の計上などによるものであり、前年同期に得られた資金14,484百万円に比べ1,538百万円の収入増となりました。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動により使用した資金は6,723百万円となりました。これは主として、有形固定資産の取得などによるものであり、前年同期に使用した資金1,731百万円に比べ4,991百万円の支出増となりました。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動により使用した資金は2,647百万円となりました。これは主として、配当金の支払などによるものであり、前年同期に使用した資金2,931百万円に比べ284百万円の支出減となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成29年9月期通期の連結業績予想につきましては、当社が事業展開している市場環境と直近の業績動向等を踏まえ、当社グループの業績予測を精査した結果、平成28年11月7日付けで公表いたしました連結業績予想を、次のとおり修正いたします。

なお、業績予想の前提となる為替レートにつきましては、1米ドル=110円、1ユーロ=115円を想定しております。

通期連結業績予想（平成28年10月1日～平成29年9月30日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	122,500	19,000	19,600	14,400	91.54
今回修正予想 (B)	127,500	21,400	22,500	16,300	103.61
増減額 (B-A)	5,000	2,400	2,900	1,900	—
増減率 (%)	4.1	12.6	14.8	13.2	—

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年9月30日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	74,503	83,076
受取手形及び売掛金	27,916	30,330
有価証券	1,000	—
商品及び製品	7,554	8,553
仕掛品	16,248	15,298
原材料及び貯蔵品	6,241	6,220
その他	7,232	6,490
貸倒引当金	△188	△226
流動資産合計	140,508	149,742
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	29,231	29,468
機械装置及び運搬具(純額)	10,070	10,344
工具、器具及び備品(純額)	3,762	4,204
土地	16,406	16,447
リース資産(純額)	195	189
建設仮勘定	4,625	6,491
有形固定資産合計	64,292	67,146
無形固定資産		
投資その他の資産	1,463	1,722
投資有価証券	2,446	2,899
繰延税金資産	6,638	6,519
その他	1,970	2,133
貸倒引当金	△19	△19
投資その他の資産合計	11,036	11,532
固定資産合計	76,792	80,401
資産合計	217,300	230,144

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年9月30日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年3月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	4,580	5,651
電子記録債務	8,880	9,657
短期借入金	2,183	2,455
1年内返済予定の長期借入金	218	210
未払法人税等	2,019	2,768
賞与引当金	3,613	3,633
その他	10,380	10,469
流動負債合計	31,876	34,845
固定負債		
長期借入金	6,844	6,757
退職給付に係る負債	7,118	7,274
その他	1,743	1,840
固定負債合計	15,707	15,871
負債合計	47,583	50,717
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	34,928	34,928
資本剰余金	34,672	34,672
利益剰余金	119,259	125,497
自己株式	△16,059	△16,059
株主資本合計	172,800	179,039
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	455	752
為替換算調整勘定	△2,921	115
退職給付に係る調整累計額	△1,170	△1,100
その他の包括利益累計額合計	△3,637	△232
非支配株主持分	553	621
純資産合計	169,716	179,427
負債純資産合計	217,300	230,144

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成27年10月1日 至 平成28年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成28年10月1日 至 平成29年3月31日)
売上高	62,843	64,953
売上原価	30,967	32,915
売上総利益	31,875	32,038
販売費及び一般管理費	20,774	20,876
営業利益	11,101	11,161
営業外収益		
受取利息	129	97
投資不動産賃貸料	43	33
為替差益	—	527
持分法による投資利益	50	55
その他	206	229
営業外収益合計	430	943
営業外費用		
支払利息	46	57
不動産賃貸費用	40	38
為替差損	235	—
その他	18	29
営業外費用合計	341	125
経常利益	11,189	11,978
特別利益		
固定資産売却益	27	11
補助金収入	125	—
投資有価証券売却益	—	0
特別利益合計	153	11
特別損失		
固定資産売却損	2	5
固定資産除却損	10	29
固定資産圧縮損	77	—
特別損失合計	89	35
税金等調整前四半期純利益	11,252	11,954
法人税等	3,343	3,001
四半期純利益	7,909	8,953
非支配株主に帰属する四半期純利益	26	35
親会社株主に帰属する四半期純利益	7,882	8,917



(四半期連結包括利益計算書)  
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成27年10月1日 至 平成28年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成28年10月1日 至 平成29年3月31日)
四半期純利益	7,909	8,953
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△36	297
為替換算調整勘定	△2,541	3,038
退職給付に係る調整額	86	70
持分法適用会社に対する持分相当額	△3	30
その他の包括利益合計	△2,494	3,436
四半期包括利益	5,414	12,390
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	5,418	12,322
非支配株主に係る四半期包括利益	△4	68

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成27年10月1日 至 平成28年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成28年10月1日 至 平成29年3月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	11,252	11,954
減価償却費	5,057	4,707
賞与引当金の増減額(△は減少)	△90	5
受取利息及び受取配当金	△149	△120
支払利息	46	57
持分法による投資損益(△は益)	△50	△55
売上債権の増減額(△は増加)	△73	△1,418
たな卸資産の増減額(△は増加)	△311	730
仕入債務の増減額(△は減少)	589	493
その他	1,291	1,567
小計	17,562	17,923
利息及び配当金の受取額	150	117
利息の支払額	△46	△57
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	△3,181	△1,960
営業活動によるキャッシュ・フロー	14,484	16,023
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の純増減額(△は増加)	3,922	521
有価証券の取得による支出	△1,000	—
有価証券の売却による収入	—	1,000
有形固定資産の取得による支出	△4,294	△7,647
その他	△360	△598
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,731	△6,723
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額(△は減少)	249	163
長期借入金の返済による支出	△87	△96
配当金の支払額	△3,059	△2,679
その他	△34	△34
財務活動によるキャッシュ・フロー	△2,931	△2,647
現金及び現金同等物に係る換算差額	△1,728	2,313
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	8,091	8,964
現金及び現金同等物の期首残高	45,556	53,595
現金及び現金同等物の四半期末残高	53,648	62,560

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(追加情報)

(繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針の適用)

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日)を第1四半期連結会計期間から適用しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自平成27年10月1日至平成28年3月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	電子管	光半導体	画像計測機 器	計				
売上高								
外部顧客への売上高	24,198	27,436	8,992	60,626	2,216	62,843	—	62,843
セグメント間の内部売上高又は振替高	623	416	1	1,042	490	1,532	△1,532	—
計	24,822	27,852	8,993	61,668	2,706	64,375	△1,532	62,843
セグメント利益	8,298	8,043	2,097	18,439	255	18,694	△7,593	11,101

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、半導体レーザーに係る事業、子会社の㈱磐田グランドホテルが営むホテル事業及び子会社の北京浜松光子技術股份有限公司の独自製品に係る事業を含んでおります。
2. セグメント利益の調整額△7,593百万円には、セグメント間取引消去△623百万円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△6,970百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費及び基礎的研究費であります。
3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成28年10月1日至平成29年3月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	電子管	光半導体	画像計測機 器	計				
売上高								
外部顧客への売上高	24,187	29,881	8,826	62,895	2,057	64,953	—	64,953
セグメント間の内部売上高又は振替高	844	442	8	1,294	252	1,546	△1,546	—
計	25,031	30,324	8,834	64,189	2,310	66,500	△1,546	64,953
セグメント利益	8,367	8,723	1,919	19,009	115	19,124	△7,963	11,161

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、半導体レーザーに係る事業、子会社の㈱磐田グランドホテルが営むホテル事業及び子会社の北京浜松光子技術股份有限公司の独自製品に係る事業を含んでおります。
2. セグメント利益の調整額△7,963百万円には、セグメント間取引消去△724百万円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△7,239百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費及び基礎的研究費であります。
3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。